

アート社会を 逆照射する鏡⑭

倉林靖 (美術評論家)

「DOMANI」展の 富岡直子の作品

「DOMANI・明日」展のことを書いておきたい。文化庁による日本の芸術家の在外研修の成果を示す目的で、毎年開かれていく展覧会で、今年で十八回目になる。今回は「表現と素材 物質と行為と情報の交差」というテーマをにかけて、東京の国立新美術館で二〇一五年十二月二日から二〇一六年一月二四日にかけて開催された。



富岡直子作品 「DOMANI・明日」展 展示風景 撮影：長塚秀人

日本の芸術家の在外研修、といっても、その意味合いは、だいぶ変わってきているだろう。かつての「ひたすら海外の文化を学ぶ」という姿勢から、「対等な立場での国際文化交流」という立場へと、それは徐々に変わりつつあり、そういう意味では、こうした制度やその成果を示す展覧会も、今日の世界に大きな意義を依然として持っていると思う。むしろ、国や文化庁は、こうしたアーティストの存在を、国際交流の面でもっと積極的に有効に活用していくべきだろう。

昨今、日本人、特に若者が海外に興味を失っているといわれるが（昨年あたりも、海外旅行に行つて日本人の姿をほとんど見かけなかった、という声を多く聞いた）、若者が海外へ行く機会を持つことはやはり貴重である。もちろん、テロの危険や難民の流入に伴う混乱など、近年の世界が流動化し移動のリスクが高まっていることも事実だろうが、それを押しも若

者が海外に出るということは、日本を違う視点から眺めてみるということだけでも、おおいに意味があるはずなのだ。

ただ、先にも述べたように、海外へ行つて得てくる経験の質というものが、やはり昔とは異なってきている。外面的な影響関係というだけでは一括りにまとめることのできない、個別的で個人的で、様々に複雑な形をとるように、それは変わってきているのではあるまいか。だとしたら、そういう微妙な経験の質を表現するのに、むしろアートは、いっそう適した形であるかもしれないのだ。

さて、筆者が今ここで「DOMANI展」について書くのは、他の出品作家には些か申し訳ないけれども、最初の展示室にあった富岡直子の作品について書きたいがためののだ。富岡には、昨春秋に、私が企画した文京区森鷗外記念館での現代アート展「利那」よ「止まれ、お前はいかに美しいから」にも出品してもらったので、

最近の彼女の作品の素晴らしさについても、十分に認識していたつもりであった。

しかし今回の富岡の作品は、さらに素晴らしかった。絵画についての、美術についての信頼を取り戻させてくれるような作品であり、美術をみることの感動を改めて思い起こさせてくれるような展示であった。ひとつのタブローから感取される感覚的な力が、半端ではないのだ。最近のいわゆる密度の濃い絵画で、「情報量の多い



富岡直子「東雲の空に」2015年 撮影：長塚秀人



富岡直子「朝陽のめざめー1」2015年 撮影：長塚秀人

画面」は幾つもあるが、富岡のような「充溢度のみなきった画面」を見せてくれるような作品は、めつたにない。パネルの上に貼られて抵抗感を獲得したキャンパスの上に塗られていく色彩は、眩いばかりの光を現出させてゆく。一見して特に鮮やかな色使いではないのだが、補色関係の色彩が使われているせいもあるのか、その光は振動していると錯覚させるほど眼に強く焼きついてくる。蛍光色を使っているのかと聞く観客もい

くるように思われる。彼女の、しばらく制作を中断していた期間に蓄積されたさまざまな個人的経験の堆積が、光への希求となつて表出されているように思われるからだ。

展示されている作品のなかでも、最新作をみると、以前よりむしろ淡い、滲むような、しっとりとした質感の描き方になっているのに、しかしその光の輝き方はかつて強くなっているようなのである。以前の作のほう

が、きつかりとした輪郭を持っていてようだったにもかかわらず、である。作者の日々の厳しい探究の姿勢がうかがわれる。富岡の作品を見ていると、まさに、「DOMANI展」開催趣旨の主眼である、経験の質というものに對する問いかけが、はからずもひじょうに鮮明に浮かび上がって

こうした作家のなかで、海外経験というものは、たんに幾つかあるなかでのひとつの経験というに過ぎず、すっかり内面化されて経験の一部というものになりおおせている。したがって「DOMANI展」が、ことさら「海外での研修の成果」をみせるものというよりも、単に、在外研修をしたことのあるアーティストたちによるグループ展、という意味合いになつてきていることも事実だろう。今回とりあげた富岡の作品は、社会を直接反映したものではないが、しかしその内的な光の力の強弱さゆえに、これこそは社会を照射する力をじゅうぶん持つものである、という気がしてくるのである。彼女の作品の今後の展開をさらに楽しみにしたい。